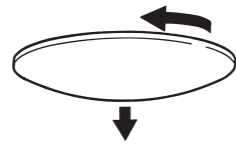


器具のはずしかた

必ず壁スイッチ(主電源)を切って、本体やLED光源が冷えてから行ってください。

■カバーのはずしかた

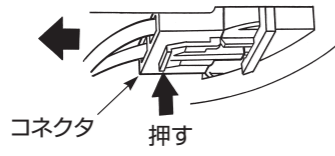
カバーを左(反時計回り)に回してください。
(パチンとロックが解除された音がします。)



カバーは無理にはずさないでください。
カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

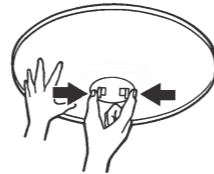
■電源のはずしかた

右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。



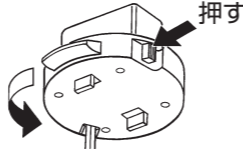
■本体のはずしかた

本体を押さえながら本体中央アダプタのレバーをへ矢印方向引いてください。



■アダプタのはずしかた

アダプタの赤いボタンを押しながら左(反時計回り)に回してください。



注意

※ボタンを押さずにアダプタを回すと引掛シーリングが破損します。
必ず主電源を切って、本体やLED光源部が冷えてから行ってください。

定 格	量 数	弊 社 形 式	定格電圧	定格周波数	定 格 消 費 電 力
	~12畳用	HLDCD**** SLDCD****	AC100V	50Hz 60Hz	43W (ナチュラルモード 全灯時)

LED照明器具の光源の設計寿命は、40000時間です。
光源寿命とは点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間です。
※40000時間は、寿命を保証するものではありません。

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため電源を切ってしばらくしてから行ってください。

- 点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。
- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃、点検してください。

- ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
- 器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。

- カバー等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

故障?と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。
下表以外の故障と思われるときは、主電源を切り、お近くのNEC製品取扱店にご相談ください。

なお連絡されるときは器具の形式名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。
形式名は器具本体部の器具ラベルに表示しています。

症 状	主 な 原 因	処 置 方 法
点灯しない	コネクタが正常に差し込まれていない。	5ページ「電源を接続する」を参照。
	壁スイッチ(主電源)が「OFF」になっている。	壁スイッチ(主電源)を「ON」にしてください。
	リモコンで消灯した後、壁スイッチ(主電源)を切り、2秒以上経ってから再度、壁スイッチ(主電源)を「ON」にしている。(消灯状態をメモリーしている)	壁スイッチコントロール機能を使用するか、リモコンのボタンを操作して点灯してください。
リモコンが効かない (例:照明器具を操作できない、スリープタイマーが動作しない)	壁スイッチ(主電源)が「OFF」になっている。	壁スイッチ(主電源)を「ON」にしてください。
	リモコンの電池が少なくなっている。	新しいマンガン電池に交換してください。(2個)
	リモコンの電池の向き(+)が間違っている。	6ページ「リモコンの電池の入れかた」を参照。
	リモコンの電池に充電式の電池(ニッカド電池など)を使用している。	新しいマンガン電池に交換してください。(2個)
	リモコンと器具本体のチャンネルが合っていない。	5ページ「チャンネルを設定する」を参照。
	他の家電製品(液晶テレビ)などからのノイズがリモコン信号に干渉している。	他の家電製品(液晶テレビ)などの電源を切ってください。
勝手に消灯する	「スリープタイマー」に設定している。	設定を解除してください。
勝手に明るさや点灯モードが変化する	デモモードに設定している。	6ページ「デモモードの解除方法」を参照。
勝手に暗くなっていく	「スリープタイマー」に設定している。	7ページ「スリープタイマーのフェードアウト機能」を参照。

NEC 照明器具 LEDシーリングライト

保証書添付 保存用 取扱説明書

- このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいますようお願い申し上げます。
- 取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
- 取付工事が終わりましたら、この説明書はご使用になるお客様が保管してください。

注意図記号とシグナル用語の意味について

警告：誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。

注意：誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

- ⚠：この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。
- 🚫：この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。
- ❗：この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

器具取付時の安全上の注意

ご使用前に、この「器具取付時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告	⚠	風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。漏電し、火災・感電の原因となります。	❗	器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取付に不備があると落下し、感電・けがの原因となります。
	❗	器具の取り付けは、取扱説明書により確実に取り付けてください。取り付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因となります。	❗	電源線接続の際は、器具の取付方法によって確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。
注意	🚫	器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。	🚫	この器具は屋内用です。5℃~35℃の範囲内で使用してください。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の原因となることがあります。
	🚫	表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。	🚫	この器具は非防水です。湿気、水気のあるところで使用しないでください。湿気、水気のあるところで使用すると、感電・火災の原因となることがあります。
	⚠	天井の取付面の構造や材質により、取付面が変色等を起こす場合があります。		

使用時の安全上の注意

ご使用前に、この「使用時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告	❗	お手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと、感電の原因となることがあります。	❗	光源にはLEDを搭載しています。安全上、LED光源を直視することはおやめください。
	❗	お手入れなどによりカバー、本体を外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けください。不完全に取り付けると、落下してケガ・物損の原因となることがあります。	🚫	布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。
注意	❗	万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。	🚫	部品の追加改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。
	❗	壁付調光器やセンサースイッチのある回路では使用できません。照明器具が故障又は誤動作することがあります。	❗	LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品、同一適用量数商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。LED光源ユニットは、通常のランプのようにお客様自身での交換はできません。
	🚫	お手入れの際は、水洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。	❗	万一、カバーなどが破損した場合、ケガの原因となることがありますので、破損部分に直接手や肌などをふれないでください。
	❗	明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。	❗	暖房器具、ガス器具等の真上やその付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。(この製品は5℃~35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。)
	❗	お手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。LED光源及び本体周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。	❗	照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますがご了承ください。

NECライティング株式会社

東京都港区芝1-7-17
〒105-0014 <http://www.nelt.co.jp/>

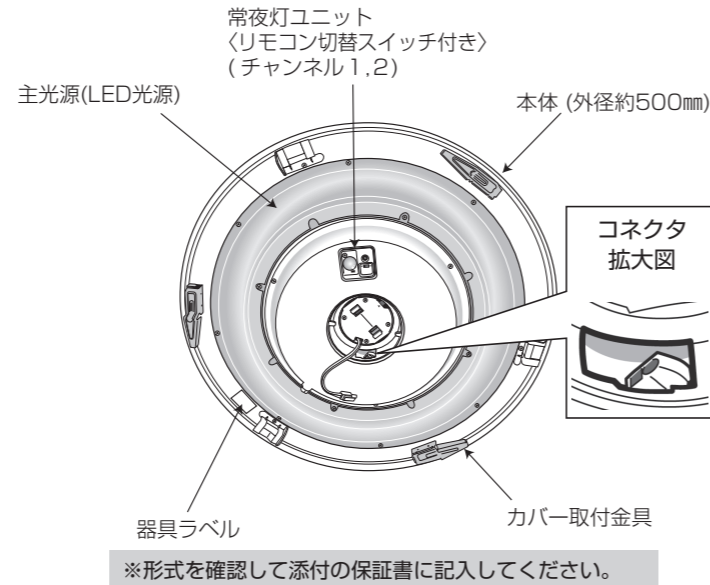
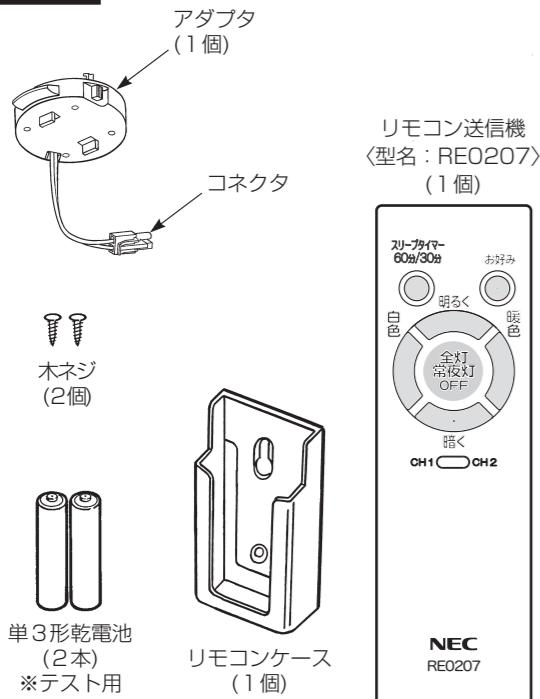
＜お客様相談室＞
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00~12:00 13:00~18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 0748-61-2330

※この紙は再生紙を使用しています

各部の名称

●一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なります。

付属品

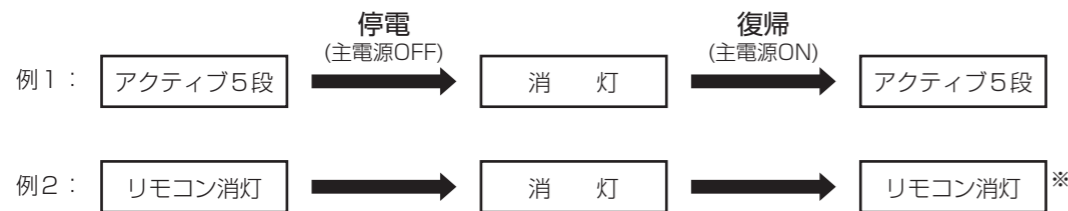


機能紹介

<p>停電復帰機能 (2ページ)</p>	<p>停電復帰後は、停電(消灯)する直前の点灯状態に戻ります。 ※壁スイッチ(主電源)をOFF→ONした時も機能します。</p>	<p>お好み機能 (7ページ)</p>	<p>お好みの明るさ・点灯モード(色)でLED主光源を記憶、点灯することができます。</p>
<p>壁スイッチコントロール機能 (3ページ)</p>	<p>壁スイッチの操作で点灯状態を切り替えることができます。</p>	<p>スリープタイマー機能 (7ページ)</p>	<p>リモコン送信機のワンボタン操作で30分後又は60分後にLED主光源を自動で消灯させることができます。(フェードアウト機能つき)</p>
<p>リモコン機能 (6・7ページ)</p>	<p>リモコン送信機で各種設定や操作ができます。</p>		

停電復帰機能

●停電復帰後は、停電(消灯)する直前の点灯状態に戻ります。



※リモコンで消灯させた状態で、停電した場合、停電復帰時は、消灯状態になります。

注) 落雷などによる短い停電(約2秒以内)が発生した場合、点灯状態が切り替わることがあります。

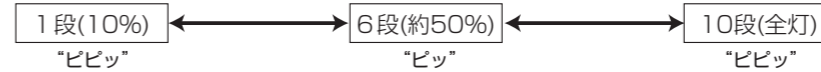
リモコン機能2 (明るさを切り替えたいとき)

■明るく/暗くボタンを長押しすると連続で明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



お好みの明るさになったところでボタンを離すとその明るさで点灯します。

■明るく/暗くボタンを短押しすると1段ずつ明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



※常夜灯も調光することができます。

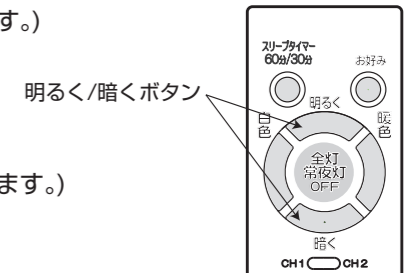
■明るく/暗くボタンを長押しすると連続で明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



■明るく/暗くボタンを短押しすると1段ずつで明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



注) 壁スイッチ(主電源)がOFFの場合、リモコンでの操作はできません。ONにしてから、リモコンで操作を行ってください。



お好み機能

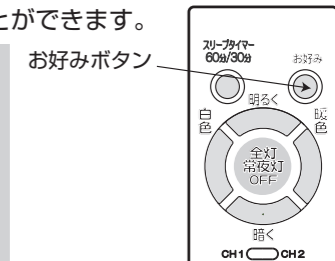
●お好みボタンを押すと、お好みの明るさ/点灯モード(色)で主光源を記憶・点灯させることができます。

■明るさ/点灯モード(色)を記憶させる方法



■記憶した明るさ/点灯モード(色)で点灯させたい場合

お好みボタンを短押しする。



スリープタイマー機能

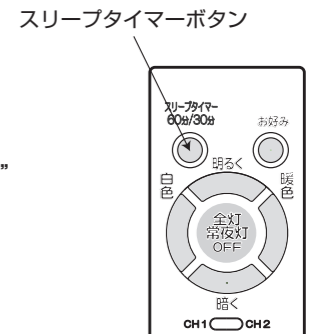
●60分後、または30分後に主光源を自動で消灯(フェードアウト)することができます。

フェードアウト機能(※) 主光源が消灯する約10分前から徐々に暗くなります。

スリープタイマーのセット/解除方法

	《設定方法》	《確認方法》
60分後に消灯させたい場合	スリープタイマーが設定されていない状態で、 スリープタイマー 60分/30分 ボタンを1回押す。	確認音「ビッ」【設定完了】
30分後に消灯させたい場合	スリープタイマーが設定されていない状態で、 スリープタイマー 60分/30分 ボタンを3秒以内に続けて2回押す。	確認音「ビッピッ」【設定完了】
スリープタイマーを解除したい場合	スリープタイマーが設定された状態で、 スリープタイマー 60分/30分 ボタンを1回押す。	確認音「ピーッ」【解除完了】

※フェードアウト機能は解除できません。



《注意事項》

- リモコン以外ではスリープタイマーの設定はできません。
- 設定を変更したい場合はいったんスリープタイマーを解除し、設定しなおしてください。
- スリープタイマーが設定されているかどうか、本体及びリモコンで確認することはできません。
- 確認音が鳴らなかった場合は、再度、設定をしなおしてください。
- スリープタイマー設定中に、リモコンや壁スイッチで消灯させた場合、または停電などで電源が2秒以上OFFになった場合は、スリープタイマーが自動的に解除されます。
- 主光源が消灯している時は、設定できません。

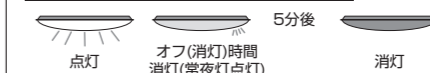
各タイマーで消灯させる時、常夜灯の点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

チャンネルスイッチがCH1の場合



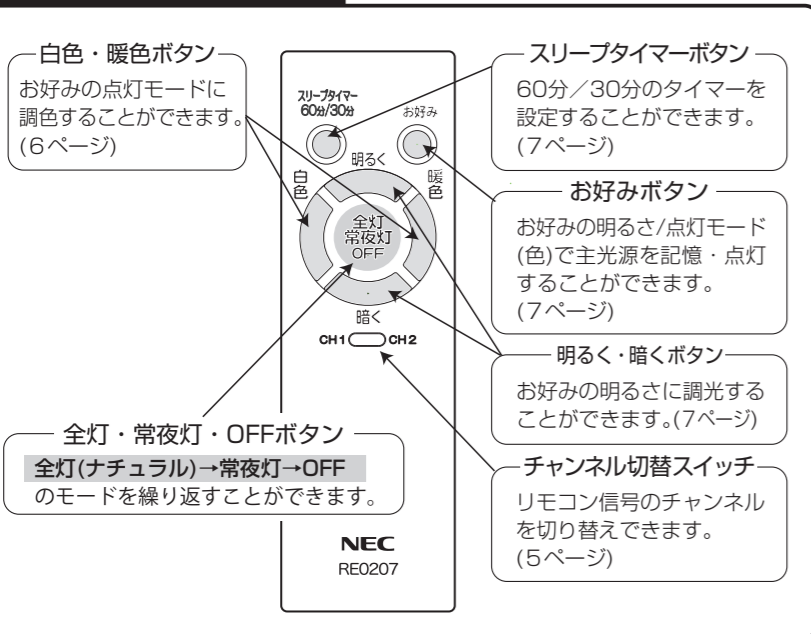
常夜灯を点灯させたいときに
ご使用ください。

チャンネルスイッチがCH2の場合



常夜灯を消灯させたいときに
ご使用ください。

リモコンの名称



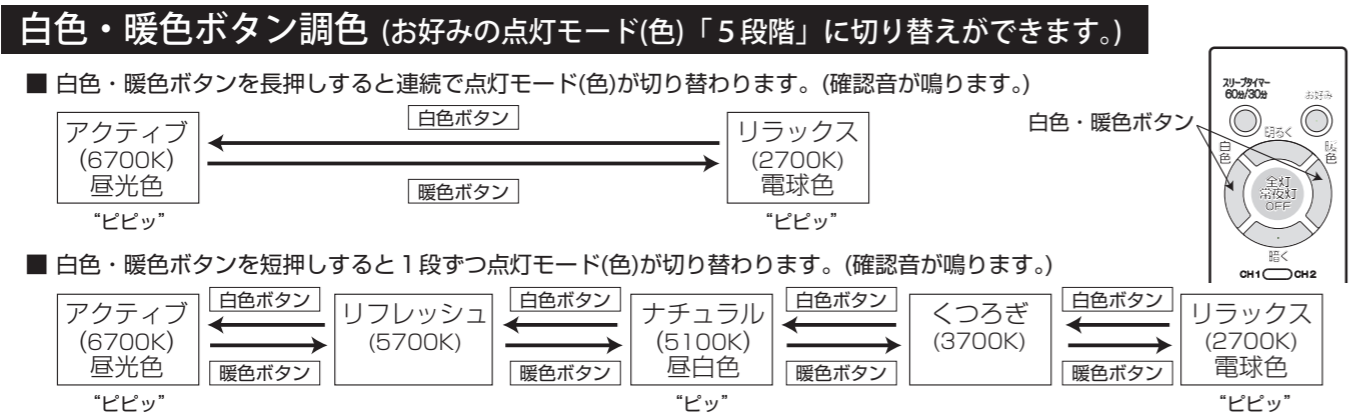
リモコン使用の準備

＜電池の入れ方＞

- リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながら手前に引いて外してください。
- 単3形マンガン電池(推奨)2本の⊕⊖の向きを合わせて挿入する。
- 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。

注意
カバーをななめに挿入して無理に押えたりすると、カバーのツメが破損する原因となります。
電池ケースのバネがまっすぐになるようマンガン電池(推奨)を挿入してください。

リモコン機能1(点灯モード(色)を切り替えたいとき)



注) 壁スイッチ(主電源)がOFFの場合、リモコンでの操作はできません。ONにしてから、リモコンで操作を行ってください。

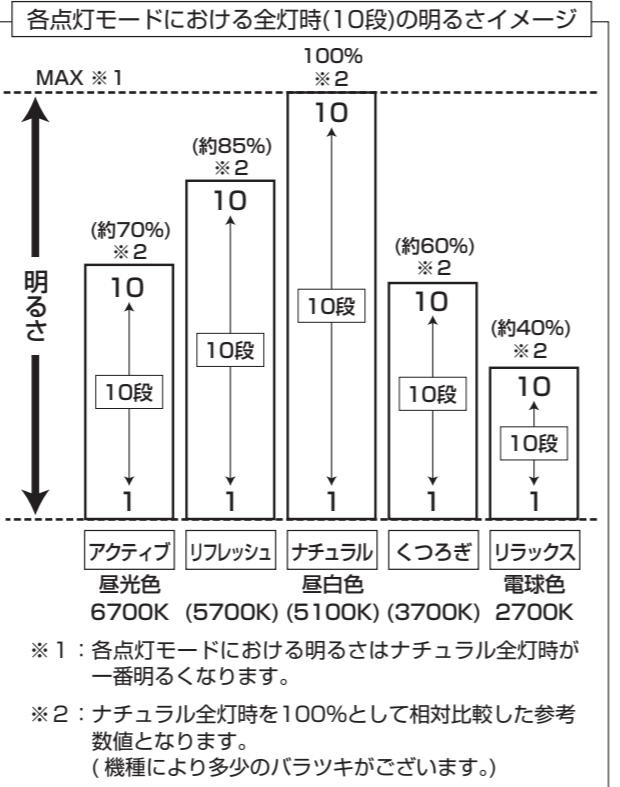
＜デモモードの解除方法＞

LED光源ユニットが調光・点灯モード(色)の切り替えを繰り返す場合は、デモモード状態になっています。(故障ではありません。)

下記の手順でデモモードを解除してください。

- 器具本体とリモコンをチャンネル2に設定する。(5ページ参照)※1
- 常夜灯点灯状態に切替えてから、壁スイッチ(主電源)をOFFにする。
- 約30秒後、壁スイッチ(主電源)をONにする。(常夜灯が点灯します。)
- 5秒以内にリモコンボタンを右図の①→②→③の順番に1回ずつ押す。
- 確認音「ピピッ」が鳴り、デモモードが解除されます。※2

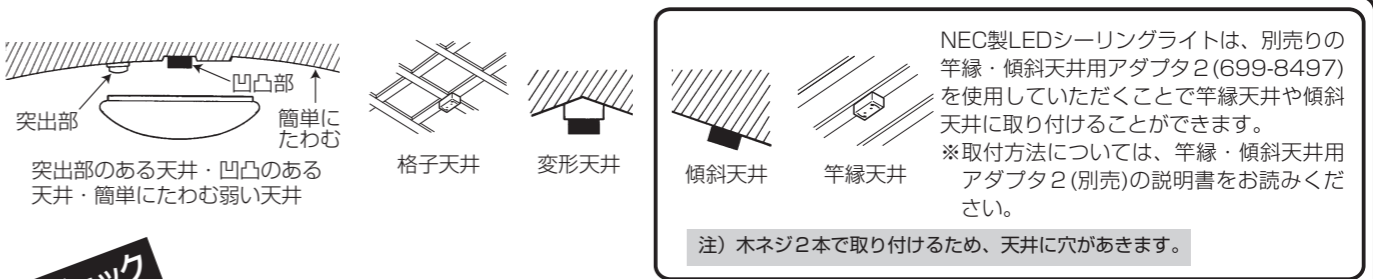
※1: リモコン(CH1)では解除できません。
※2: 確認音「ピピッ」が鳴らない場合は、解除できていません。再度、デモモードの解除を行ってください。



使用上のご注意

- 本体を分解したり、改造しないでください。火災や故障などの原因になります。
- 精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。
- 点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがありますが、器具の故障ではありません。
- 本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。他の家電製品には使用できません。また、他の家電製品のリモコン送信機は使用できません。
- 器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されると、雑音が入ったり、リモコンを操作しても動作しない場合があります。
- 壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても動作しません。
- この器具はリモコンスイッチで消灯しても電源回路が約1.0Wの電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。
- 照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。*リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が動作しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。
- リモコン送信機は器具に向けて操作してください。*壁に取り付けたリモコンケースに入れた状態などで、リモコン操作を行うと動作しない場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見えることがあります。
- テレビを視聴している時は、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 天井や、壁、床の材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。
- マンガン乾電池(単3形)をご使用ください。
- 電池寿命の目安(1日10回使用の場合) マンガン乾電池: 約6ヶ月 (付属の電池はテスト用です。新しい乾電池に交換してください。)
- ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。
- 乾電池は、+・-の極性を正しく入れてください。
- 長期間リモコンを使用しない場合、乾電池の液漏れによる故障の原因となるので、乾電池を外してください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

取り付けできない天井



要チェック 必ず守る 竿縁天井・傾斜天井に器具を取り付ける場合は、取付場所を確認してください。

竿縁天井に取り付ける場合

- 竿縁が天井裏で補強されていること
- 竿縁の幅が下記の範囲内であること

注) 下記の竿縁天井には、取り付けできません。

- サオブチの断面が下図の形状のもの
- 天井板が竿縁に固定されていない天井

傾斜天井に取り付ける場合

傾斜角が0°～55°までの天井であること。

注) 55°を超える傾斜天井には取り付けできません。

壁スイッチコントロール機能(壁スイッチで照明器具を操作したいとき)

点灯・消灯する

壁スイッチ ON → 点灯
壁スイッチ OFF → 消灯

消灯時に記憶した点灯状態でスタートします。
消灯する直前の点灯状態を記憶して消灯します。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。

OFFカチッ → ONカチッ → 全灯(10段)※1 → 常夜灯※3 → 調光点灯※2

注意

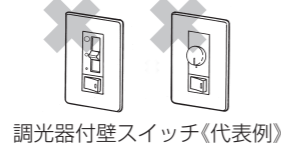
- リモコンで消灯させた状態で壁スイッチをOFFにすると、次に壁スイッチをONした時は消灯状態となります。
- 壁スイッチでは点灯モード(色)を切り替えできません。

※1) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)
※2) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)と明るさ(明るさが全灯(10段)の場合は6段)
※3) 最後に使用していた明るさ

取付上のご注意

注意

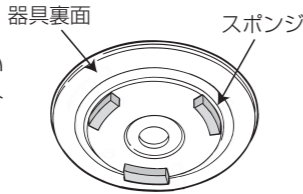
本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器やセンサースイッチが接続されている場合、LEDが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。接続されている場合は必ず調光器やセンサースイッチを取り除いてください。(調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。)



調光器付壁スイッチ(代表例)

注意

器具裏面についている黒いスポンジ(3コ)は、取り外さずにご使用ください。



器具の取付方法

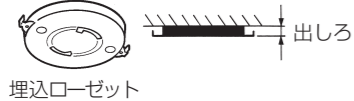
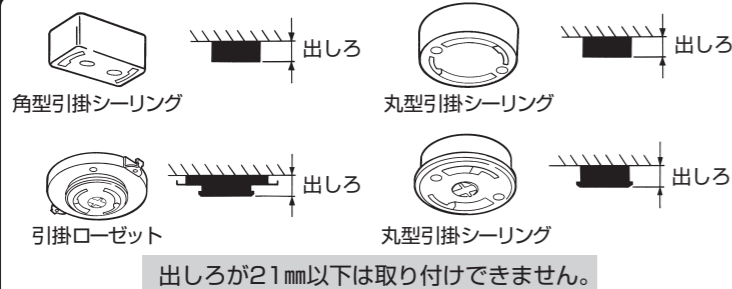
1. 天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。(ガタつきや破損がないことを確認して下さい。)

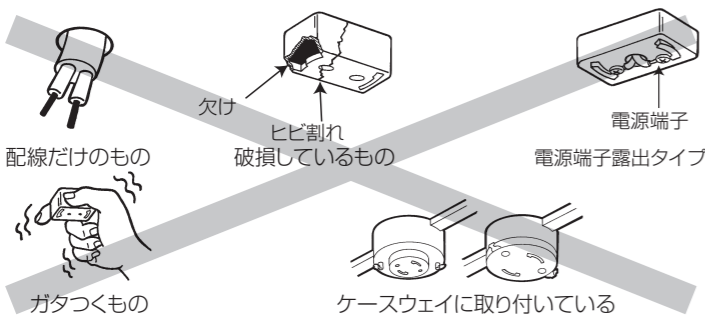
重要ポイント

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。



出しろが10mm以下は取付できません。

取り付けできない引掛シーリング

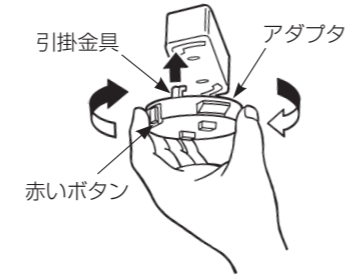


必ず取り付け可能な引掛シーリングに交換してください。交換には電気工事士の資格が必要です。交換工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。(引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けしないで下さい。器具が落下する恐れがあります。)

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行ってください。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、右(矢印方向)方向にカチッと音がするまでまわしてください。



重要ポイント

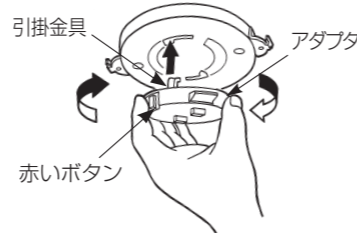
取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

警告

落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、右(矢印方向)方向にカチッと音がするまでまわしてください。



重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

警告

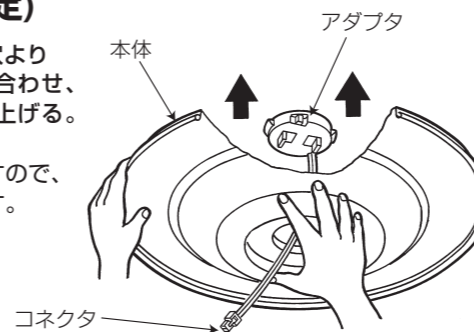
落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

① 1段押し上げ(仮固定)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラついています。

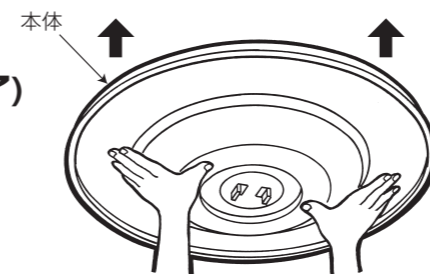


警告 まだ本体の取り付けは不完全です。この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント

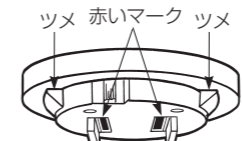
② 2段押し上げ(取付完了)

さらに強く押し上げる。



要チェック

- ① 本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。
- ② 本体のグラつきがないことを確認する。

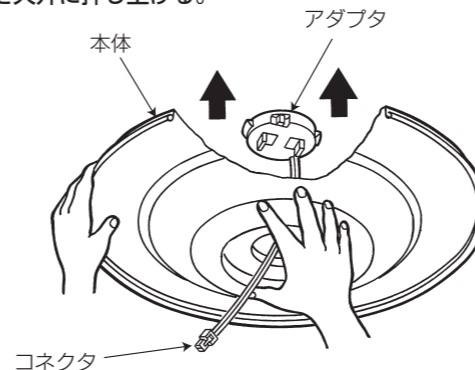


これで本体の取り付けは完了です。

3. 本体を取り付ける

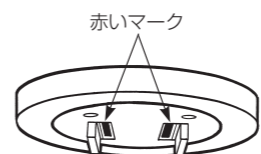
① 1段押し上げ(取付完了)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。



要チェック

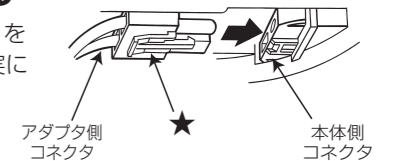
- ① 本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
- ② 本体のグラつきがないことを確認する。



これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

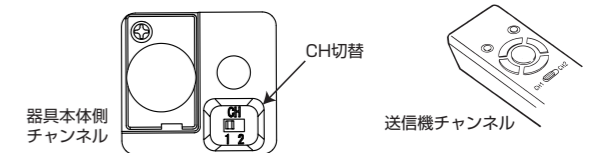
アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。



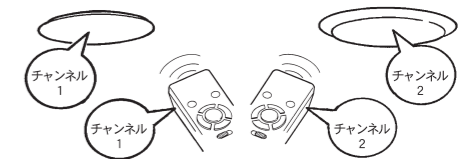
★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。

5. チャンネルを設定する

- 1台のみ操作する場合
器具本体側のチャンネルとリモコン送信機チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。(出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信機共、チャンネル1に設定しています。)



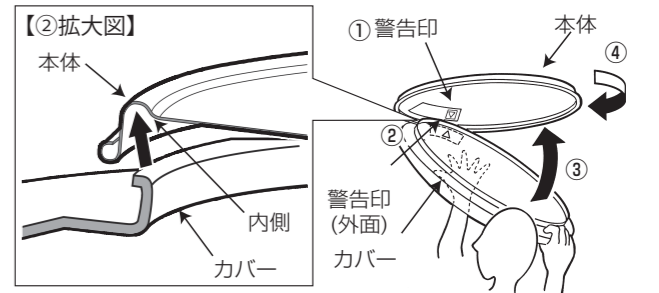
- 2台の器具を別々に操作する場合
(1つのリモコン送信機で2台の器具を別々に操作することができます。)
1台目の器具本体側チャンネルを「1」、もう1台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。リモコン送信機のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。



6. カバーを取り付ける

- ① 本体の警告印(△)にカバーの警告印(△)を合わせる。
- ② 本体の内側にカバーを合わせる。
- ③ カバーを水平に持ち上げて、本体に押し付けるように密着させる。
- ④ カバーを右(時計回り)にパチンとロック音がするまで回す。

※カバーを取付せずに点灯するのはおやめください。



警告

落下のおそれあり 取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。カバーは無理に取り付けしないでください。カバーの割れ・落下によるけがの原因となります。